大人のための異文童話集4 人魚姫

天野久遠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大人のための異文童話集4 人魚姫

【Nコード】

N9419L

【作者名】

天野久遠

【あらすじ】

人魚が見初めて、人魚と知らず恋に落ちる船乗り。だけどこの世の中には人魚の知らなかった楽しいことが沢山で、それらは通り続いた船乗りとの恋以上に…。

決してここからは逃げられないの。

どんなにイヤなことがあつたとしても、どんなに辛く悲しい思いをしても、決してここからは…。

だけどそれなりに自由もあつたわ。

こんな例えようのない思いを伝込めて、私は幾人の船乗りたちに歌を歌う。

切なく揺らく気持ちをいつもそうして抑えていたの。

そんなある日その人が現れた。

嵐の中で彷徨う船にその人がいたの。

だけど私はただ遠くで眺めるだけ。

それだけでも心が洗われていくのがわかる。

流れゆく船を追って遠くで見えていても、切ない気持ちは募るばかり。

こうしていても、私の気持ちはあの人に届くことはない。

せめてこの気持ちだけでも伝えたい。

どうにもならないことだと、ちゃんと頭の中ではわかっているの。

それでも私の心があなたを求めてしまうから、魔法使いにお願いをしたの。

その日から私は、いつでも近くであの人を見ることが出来るようになったわ。

近くにいればあの人のごことがいろいろとわかる。

それだけで毎日が楽しかったの。

けれどもやっぱりそれだけでは…わがままなこの私の心は揺れるばかり。

ある日勇気を出してあの人に声をかけたわ。

あの人は、おどおどと話す私に笑顔くれた。

私がここに姿を見せた頃から、あの人も私を気に掛けてくれていたの。

なぜか昔から知っていたように話す人、思った通りの優しさで私を包んでくれた。

それからというもの、毎日ふたりで他愛のないお話をする。

笑顔の絶えない日々が続き、いつしかふたりは恋に落ちていた。でも、船が出る度にいなくなるあの人。

やっと私もこの生活にも慣れて来たから、あなたがいなくても楽しく過ごせるようにとお仕事を探す。

海から帰ったあなたと会って、私のまだ知らないこの世界のお話をたくさん聞くの。

そして、そつと交わす唇の柔らかさも心地よい。

何もかもが幸せと感ずる日々。

お気に入りとなったこのお仕事、毎日大変だけど楽しくて仕方がないの。

ここには、海の底では考えられなかった楽しいことがたくさん。いまではそれらに夢中だわ。

あなたのことすら忘れてしまうほどの、こんな楽しい日々に出会え

るなんて、あなたを見初めてほんとうによかった。

いつでも…そう、心の中であなたに感謝しているのは嘘じゃないわ。けれども私は、もうあの頃のように誰かを求める人魚には戻りたくはないの。

ごめんなさいね、そして…ありがとう。

(後書き)

BGMにはSEAMOの“マタアイマシヨウ”がいいですかね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9419/>

大人のための異文童話集4 人魚姫

2010年10月14日22時52分発行